



清里 まちづくり No.50

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005

FAX255-0341

◆枝豆収穫・豆出し

(事務局長 松下博寿)

7月21日(土)、恒例となりました枝豆の収穫を、子供たち34名を含む総勢80名の皆様の参加を得て行いました。

お父さん、お母さんと一緒に楽しそうに枝豆をもぎ、ビニール袋いっぱい詰めた子供たちの真剣な姿を見ると、この事業を継続できた喜びを感じています。



公民館のホールで、和気あいあいと作業

その後、役員の皆さんに協力いただき今年度「きよさと焼」に使う枝豆の豆出しを行いました。例年と違い今年度は群馬県立利根実業高等学校にも協

力いただき、生徒さんが考案した枝豆の鞘から豆を取り出す機械『むくゾウくん』を使用してみました。まだ試行段階で生徒、先生方も戸惑っていましたが、役員の皆さんの手むき分と合わせ、無事年間使用量を確保することができました。

食育部会ではこれからも各種行事で「きよさと焼」を出店しますので、皆さんも是非味わってください。



「むくゾウくん」も活躍



沢山できた
「きよさと焼」の主役



◆「きよさと焼」教室

(食育部会副会長 関口美佐江)

7月13日の金曜日に清里小学校3年生、33名を対象に「きよさと焼」教室を実施しました。

子ども達は、思い思いのエプロンと三角巾を身に付け、やる気満々の表情で公民館にきました。グループ別に分かれ、担当者や火傷や怪我のないように約束をして手洗いから始めました。



テーブルに並ぶ材料を子ども達が順番にボールに入れ生地を作ります。

温めたホットプレートで肉を焼き、その上に一人ずつ生地を載せトッピングをしていくと色々な形になり、話が弾み、次は「私がやる」と進んで参加する姿があちこちに見られました。

二種類の味を完成させ、皆笑顔で嬉しそうに味わっていました。

「きよさと焼」の味を伝える楽しい時間でした。

◆第六回 清里ふるさと祭

「皆さんと楽しんだ清里ふるさと祭」

(清里地区自治会連合会長

高瀬照雄)

去る8月4日(土)「第6回清里ふるさと祭」が清里公民館で開催されました。

今年はかつてない猛暑であり、さらに台風12号の影響で、実施できるか心配しましたが、幸いにも天候が回復し、大勢の皆さんの参加を得て盛会裏に開催されました。

今回は、これまで先輩方から引き継がれた経験等を基に、実行委員会(総務部会、イベント部会、芸能部会、会場部会)が会議を重ね、大勢の皆さんがより楽しく、世代間の交流が図れるよう企画・実施いたしました。

また企業や個人事業主、地域の皆さんから沢山のご協賛をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



さて、当日のオープニングイベント

は、特別ステージを設け、子ども達にも十分楽しんでもいただけるように地元出身歌手「yoshimi(よしみ)」さんの歌やバンド演奏、風船飛ばし、群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」とのふれあい、そして前橋若者会議のトークと子どもダンス、落語など。また、お化け屋敷も好評でした。

模擬店ではきよさと焼、焼きまんじゅう、焼きそば、かき氷・フライドポテトなどの他カクテルフイズのお店も出され大人も子ども達も祭を楽しんでくれました。



焼きそば、フライドポテト、どれも「最高！」



そろいの支度で、八木節音頭 ♪

また、夕方からは山本市長、尾身朝子国會議員も駆けつけて、お祝いの言葉をいただきました。



スーパボールすくい「お〜 取りすぎたぜ」

後半第2部は世代間の交流を図るため、大人から子供まで多くの皆さんが、やぐらを囲み、楽しく「盆踊り(子ども八木節・だんべえ踊り・八木節手踊り・炭坑節・きよしのズンドコ節・百歳音頭)」を踊りました。

その後、皆さんお待ちかねの「大抽選会」や夜空に舞う「きよさと花火」を鑑賞し、夏のひとときを堪能していただけたと思います。

参加いただいた地域の皆さん、そして準備から翌日のやぐらの解体・花火のゴミ拾いまでお手伝いいただきました方々に厚くお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

【模擬店】

「きよさと焼」をはじめ、子ども達に人気の「かき氷、スーパボールすくい」の他、カクテルフイズも新登場。家族連れで楽しめました。

今回は前橋市農協清里支所の方々が初めて参加。地元産の枝豆、玉ねぎなどが販売され、好評でした。

【イベント】

ぐんま観光特使の yoshimi さんと一緒に歌って踊ろうという事で目の前で、どんな話しや歌を唄ってくれるのか真剣なまなざしで見つめる子供たち「ぐんまちゃん」も大人気で、一緒に写真をパチリ。

前橋若者会議による子供ダンス、落語二題、スタンプリーは、とても暑い中で頑張っていたいただきました。

【盆踊り】

今回はやぐらの高さを1メートルほど下げ、舞台や提灯も低くなりました。踊りの練習に参加した人を交え、歌に合わせて大勢の方が輪になって楽しみました。

【きよさと花火】

夏空に「ドカーン」と大輪の花が咲き、そしてキラキラと舞い落ちる光景に、皆さん感激されていました。



かき氷を求め行列 「僕、メロンがいい」



オープニングで願いを込めて「風船飛ばし」



お化け屋敷、「ヤベ〜 怖い！」



JA清里さんも新鮮野菜販売で出店



清里の夜空を飾った、いくつもの大輪



提灯に火が灯ると雰囲気は最高潮に「それぞれ♪」

◆ y o s h i m i さん

(子育て連会長 高橋邦枝)

8月4日の清里ふるさと祭に、地元出身の y o s h i m i さんを招き、ぐんまちゃんと一緒にミニライブでオープニングを飾っていただけたことを大変嬉しく思っています。清里のお祭にどんなステージをしていたいただけるのか楽しみでした。今までにない企画でしたので、成功する様に子ども達にもCDを聴かせ、お祭前から準備していました。

当日本番前の打ち合わせでもやる気満々のキラキラした人柄で、心のこもった100%のステージを飾っていただきました。子ども達も楽しんで大満足な様子で、今年の子ども部門は大成功だったと思います。



猛暑の中のライブでしたが最高の笑顔と歌でお祭を盛り上げていただき役員一同心から感謝しております。



◆ 若者会議の参加

(新井博孝 連絡員)

今年の夏祭りには、前橋の地域若者会議のメンバーと一緒に盛り上げて下さいました。



「USA」のダンスを子ども達と一緒に

地域若者会議は、前橋が大好きな35歳以下の若者が『自分達に何が出来たのか』を考えている集まりです。今回の夏祭りでは、スタンプラリーやキャラクター作り、落語やダンスの他に、子供達やお祭りに来ていた人達に清里の魅力や好きな所、不満に思っている事などを聞いて今後のまちづくりに繋げる手伝いもして頂きました。今年の夏祭りを盛り上げてくださった地域若者会議の皆さんには本当に感謝しています。

◆ 花はな花壇

(花いっぱい運動部会長 櫻井恭子)

今年の夏も35度を越える暑い日が続き、花壇の除草作業に参加した部会員の皆さんは、大変ご苦労されました。特に県道沿いの『花はな花壇』は日陰がなくて、作業の後の休憩も強い日差しの下でという状況でした。

そこで、7月末に新井建設さんに、日除け用のパーゴラ(木製アーチ)を造ってもらいました。そして天井の部分にヨシズを取り付け、周りにもヨシズを立て掛けると風通しの良い日陰ができました。8月1日の作業の時には快適な休憩場所が出来て皆さん大変喜んでいました。

新井建設さんには、

「ヨシズを立て掛けて日陰が出来るようにしたい。」という、わがままな注文を快く引き受けていただき大変感謝しています。皆さんも是非ご利用してください。



編集後記

北西太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧区域内の最大風速が約「15ms以上」に発達したものを台風と呼称。(Wikipedia)

北西太平洋は赤道より北で、東経180度(太平洋のまん中付近でハワイより西)より日本側。その東側の熱帯低気圧をハリケーンと呼んでいる。

今年は、その台風が日本に頻繁に接近、上陸し、うんざりだ。先月は、21号(チービー)が猛威をふるって甚大な被害が発生したことは、地震被害と共に記憶に新しい。



ところで全ての台風には名前が付けられているが、我々には台風○号と呼ぶのが一般的でさほど馴染みがない。番号及び名前の付け方には法則があり、毎年一月一日から発生順に番号が付けられ、アメリカ・アジア各国で構成された台風委員会によって140個の事前に決められた名前を順番に付けている。年間発生数の平均が25個強なので5年で一巡することになるそうだ。

大きな被害をもたらした台風の名前は委員会加盟国からの要請で以降の台風に使用しないように変更することもある。チービーの名前はリストから、削除する対象になってもよいのでは。